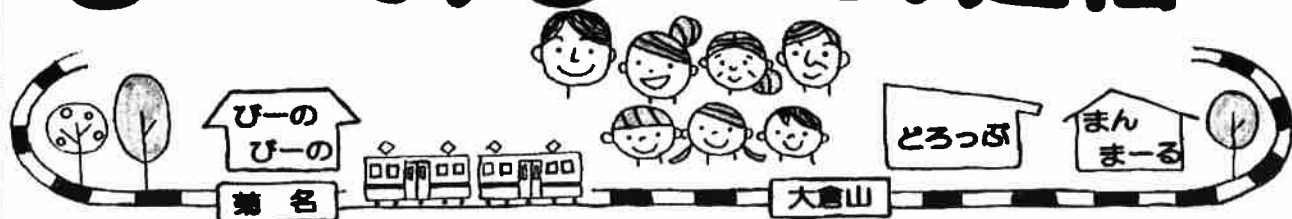
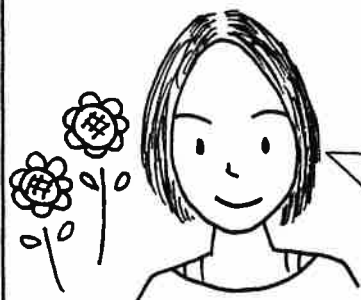




びーのびーの通信



今年も暑い夏がやってきましたね.. 水分と休養をしっかりと取りながら、元気に過ごしていきたいですね♪
さて今月は、ひろばに入ってくれるインターンの学生さんをご紹介します！ ひろばで見かけたら、どうぞお気軽に
お声かけくださいね♪



今年度インターンをさせていただきます、玉川大学教育学部4年の田口亜佑美です。これから短期インターンの3人と一緒に頑張っていきたいと思います。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

大学では幼稚園教諭を目指して勉学に励む日々なのですが、その中で共通して感じるのは「**子どもは、たくさんの方の支え合いの中で生まれている**」ということです。ひろばで出会う保護者の方には、学生ボランティアの頃によく「ありがとう」と言っていました。私自身は大好きな子どもと遊ぶことができた感覚であったのですが、ほんの少しの間だけでも、子どもを見てくれる存在が他にいることが支えになっていたのだと、ひろばでの出会いを通して思いました。そのため、**私も子どもを育てる人のネットワークづくりの一員になれるよう、まず自分が人と繋がる力を持てるようになりたい**と思い、インターンシップを希望しました。

7月6日(土)に実施された学生ボランティア研修会は、インターンとして初めての活動でした。企画では、**びーのびーの「他者と関わることで生まれる温かみ」を、学生が感じられる研修会になるように**と考えました。また、『話し合いを踏まえて自分ならではの企画をしていくこと』、『それを他者に伝えるものにする』に努めました。

当日運営は、多くの学生が参加し、短期インターンの2人やスタッフとは、お互いに声を掛けあって臨機応変に会を進めることができました。改善点としては、配布資料が多い分、話すことをコンパクトにまとめる、などどの学生にも聞きやすい内容にすることが挙げられました。

学生ボランティアとは、同世代であるインターンの立場を利用して、学生と親子、スタッフとの交流を楽しめるように接していきたいです。そのために、学生の感想に目を通すことでその思いに共感し、学生と同じ日に活動するときは、学生が自分から他人に関わっていけるようにサポートをしたいと考えます。

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします！

(田口)





ひろばの風景

ひろばでの一時預かり事業が始まり、もうすぐ3年目。

預かりでは、子どもたちはいつもの慣れたひろばで、好きなおもちゃで遊んでいます。ママに「行ってらっしゃい」と手を振って早速、お気に入りのドレスを着る子、好きな新幹線の本を見せると、目をキラキラさせ寝そべて見る子、箱電にペタペタ養生テープを貼り、なが〜く連結させる子、お友だちが来ると嬉しそうに「一緒に遊ぼう」と駆け寄ります。

でも時にはママとのお別れが悲しく泣いていると、いつものひろばでのお友だちがよよし頭をなでに来てくれます。普段親子で遊びに来ているひろばだから、お友だち同士のつながりもできてきているので、子どもも安心ですね。ママたちも「念願の整体に行けて嬉しいです！」とリフレッシュに利用する回数が増えてきて、預かりはひろばの一部になっています。

あなたも子育てでちょっとひと休みしたいとき、利用してみませんか。
(事業の詳細は、ひろば利用案内をご覧ください。) (スタッフ I)



「防災を考える会」でわかったこと (火災編)

これまで「防災を考える会」は地震想定で避難訓練していましたが、7月2日の会は火災想定で行いました。

ひろばで遊んでいる会員さんたちに、スタッフが「キッチンから火が出ました。急いで外に避難してください。」と声をかけました。お母さんは、子どもと荷物を抱えて玄関でくつをはいて、子どもにもくつをはかせて外から公園へ歩いて避難。途中スタッフのいつもと違う様子にびっくりして泣く子もいましたが、無事、外遊び中の親子も見つけて公園に集合。点呼安全確認が済むまで約8分。外で遊んでいた親子は手荷物なし。**いざという時、ひろばには戻れない**ことを念頭に、日頃から**サイフ・ケイタイ・カギ+好きなお菓子**(気持ちを落ち着かせるのに有効)を小さいリュックやポシェットなどに入れて持ち歩くことが必要だと、貴重品管理についての意識を見直すきっかけになった様子でした。

これからの季節、心配なのは花火からの火災。子どもの火遊びによる火災、意外と多いのが家電のコンセントやプラグの隙間に水分やほこりがたまって出火する**トラッキング現象**による火災ということで、家庭でも火災に対する防災について見直してみたいのではないでしょうか。(スタッフ K)

火災時は、せっきくの防災製品でも、防災頭巾を配る&被る余裕はないと思う。



火災は風向きによって逃げる方向が変わるね。



(荷物を取りに戻りたいけど) 荷物より命です。



小学校などで習う「おはしもて」

お…おさない
は…はしらない
し…しゃべらない
も…もどらない
て…てはくちに



次回の防災を考える会は9月4日(水) 13:30~ 消防団の方に防災指導をしていただく予定です。



「やさい だいすき」

柳原良平 こぐま社

夏は子どもが野菜に手をのばしやすい季節。シンプルな線の切り絵による野菜がたくさん登場、短い文で読みやすく、葉っぱや形の違いがわかります。

くりくり目の愛嬌ある野菜たちを見れば、お店に行きたくさがるようになりますよ。

(スタッフ Y)



水遊びがはじまりました♪

お天気の良い日には、ひろばの前でプール遊びができます。(行事等でお休みになることもあります。)

水着・着替え・タオルと帽子を持ってきてね。
(水遊び用おむつも可)

☆詳細についてはお問い合わせください。



☆は午前中に助産師が来る日です。お気軽にご相談を。
一般参加の場合はひろば利用料として500円別途いただきます。

8月

- ◆ 8月12日(月)～16日(金)は夏季特別休館とさせていただきます。
- ◆ 8月21日(水)はスタッフミーティングのため12時より開館とさせていただきます。

◆ お外でひろば 1日(木) 10:00～
つるみプレーパーク(三ツ池公園内)へ行こう!
(ひろば集合)要:予約
詳細はひろばにお問い合わせください。



月	火	水	木	金
			1 ☆ お外でひろば	2
5	6	7	8	9
12	13	14	15	16
夏 季 特 別 休 館				
19	20	21 12時より開館	22	23
26	27	28	29 ☆	30

9月

9月18日(水)はスタッフミーティングのため1日休館させていただきます

月	火	水	木	金
2 おはなし会 11:30～	3	4 防災を考える会 13:30～	5	6
9	10	11 子育て相談日 10:00～	12 ☆	13
16 敬老の日	17 赤ちゃん体操 & お母さんのためのストレッチ 13:30～	18 スタッフミーティングのため1日休館	19	20 お外でひろば 10:00～
23	24	25	26 ☆ ベビーマッサージ 10:30～	27
30				

- ◆ おはなし会 2日(月)11:30～
元気な子も集まれ!まずは気軽に参加してね。
- ◆ 防災を考える会 4日(水)13:30～
ひろばで篠原地区消防団の方から防災指導を受けます。
- ◆ 子育て相談日 11日(水)10:00～
臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての中で出会う不安や心配なことを一緒に考えてくださいます。お気軽にご相談を。
- ◆ 赤ちゃん体操&お母さんのためのストレッチ 17日(火)13:30～
赤ちゃんとゆったりやさしく触れ合いながらの体操です。体操のあとはお母さんのためのリラックスタイムもありますよ。
要予約:8組、参加費:一般500円、会員200円
- ◆ お外でひろば 20日(金)10:00～
お母さんたちの自主企画です。行先はお楽しみに。詳細はひろば掲示にて。要:予約
- ◆ ベビーマッサージ26日(木)10:30
女性鍼灸師の小林規智子先生によるオイルを使わないマッサージです。ママも赤ちゃんもゆったり気分になれますよ。
要予約8組 参加費一般500円、会員200円

おやこの広場 びーのびーの ひろば利用案内

★横浜市補助事業「親と子のつどいの広場事業」

★主に0～3歳で未就学の子どもが対象です。(ひろば見学は初回のみ無料)

★きょうだい同時でひろば利用される場合、2人目以降半額。

(3人同時利用の場合3人目は無料)6ヶ月未満は無料。

★ひろば利用料はびーのびーの運営、維持費として活用させていただきます。

★ひろばでの一時預かり…月・水・金の10:00～15:00

対象:6か月～3歳以下のびーのびーの会員(ひろば利用概ね5回以上)

※4歳以上の未就学児に関しましては、個別に相談ください。

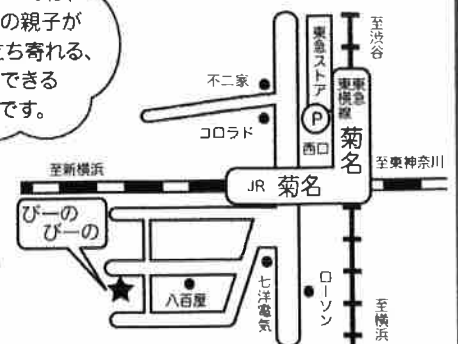
一時預かり登録料500円、1時間500円、最長4時間まで。

その他詳細についてはひろばにお越しの際におたずねください。(登録可能日/火午後・水・木・金)

- 入会金……………1,000円
- 1回利用料……………300円/回
- 1ヶ月フリーパス…2,100円/月
- マタニティ利用料…200円/回
- ビジター利用料…500円/回
- 未就学児(年中・年長児に該当)…300円/回

- ※入会金は1家族初回のみ
- 開催日 月・火・水・木・金 9:30～16:00
第3水曜日 12:00～16:00
- 休館日 土曜日・日曜日
祝日・年末年始・特別休館日

びーのびーのは、
子育て中の親子が
いつでも立ち寄れる、
ほっとできる
場所です。



〒222-0021 横浜市港北区篠原北1-2-18
TEL: 045-439-7447 FAX: 045-439-7448

